


世界史 B 問題

最初に、これを読むこと。

1. この問題冊子は、16 ページまでである。
2. この試験時間は、60分である。
3. 解答用紙には、あなたの受験番号が印刷されている。受験番号が正しいかどうか、受験票と照合し、確認すること。
4. 解答用紙の所定の欄に氏名を記入すること。
5. 解答は、すべて解答用紙の所定の欄にマークするか、または所定の欄に記述すること。解答欄は裏面にもある。
6. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。また所定の欄以外のところには、絶対に記入しないこと。
7. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入すること。
8. 訂正する場合は、訂正箇所を消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
9. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
10. 解答用紙は持ち帰らないこと。
11. この問題冊子は必ず持ち帰ること。
12. 解答をマークするときには、下記の記入例を参照すること。

(マーク記入例)

良い例	悪い例
●	

〔 I 〕 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

ローマ帝国は、地中海を中心に広大な地域を支配したが、その周辺地域ではしばしば異民族との間に緊張が高まることがあった。⁽¹⁾そして4世紀以降、帝国による統一的支配が最盛期を過ぎると、ヨーロッパでは大規模な住民の移動を伴う変動が起こった。中でも、ローマ帝国側からゲルマン人と呼ばれた人々は、帝国の内外を頻繁に移動し、時には激しい武力衝突も生じた。⁽²⁾⁽³⁾5世紀にはローマ帝国西半部において皇帝による統一支配が実質的に解体し、各地で王国が分立する時代となる。しかしかつてのローマ帝国理念が途絶えたわけではない。この帝国では4世紀にキリスト教が正式な宗教となったが、教皇中心の組織を徐々に整えつつ⁽⁴⁾⁽⁵⁾あったローマ＝カトリック教会が、帝国西半部でローマ帝国理念を受け継ぐ重要な役割を果たしたのである。8世紀末には、フランク王国のカロリング家とローマ教皇が提携することにより、⁽⁶⁾西ローマ帝国が復活する。

しかし中世に入ってから、ヨーロッパには周辺から多様な人々が進出あるいは侵入し、⁽⁷⁾大きな社会的不安の原因となった。そして各地に建設された国家において、⁽⁸⁾いまだに分裂や征服などが繰り返され、どのような地域的単位で新しい政治的秩序が築かれるかはいまだに明瞭ではなかった。ヨーロッパをめぐる人間集団の大規模な移動がひとまず収束に向かい、また国家の輪郭が明らかになっていくのは、中世半ばになってからである。アジアやアフリカにまたがる領域を占めていた東ローマ(ビザンツ)帝国の場合、⁽⁹⁾外敵の脅威にさらされる可能性はさらに強かったといえる。

成立期のヨーロッパ諸国においては、国全体を支配する国王の権力はいまだに弱体で、農村地域では実質的に、土地と人間に対する権力は領主が握っていた。⁽¹⁰⁾やがて11世紀以降、相対的な安定期を迎えて徐々に生産力が高まることにより、ヨーロッパは新たな発展の時代に向かうことになる。また、皇帝権と提携しつつその組織を整え、社会を指導する権威を徐々に確立していったローマ＝カトリック教会は、自ら体制を刷新させ、⁽¹¹⁾世俗権力から自立した教会という、ヨーロッパ独特の体制を生み出していく。

設問 1. 下線部(1)に関して、ローマ人からはガリア人とも呼ばれ、優れた鉄器文化を持っていたが、ローマ人やゲルマン人によってヨーロッパ西端へ押しやられた民族の名を解答欄に記入しなさい。

設問 2. 下線部(2)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ロシアのウラル地方が居住地とされる。
- B. 貴族・平民・奴隷の身分差があった。
- C. 自由人男性は民会に参加する資格を有した。
- D. 有力な貴族は平民を従士として従えていた。
- E. 一部は傭兵やコロヌスとしてローマ帝国内に居住した。

設問 3. 下線部(3)に関する以下の説明のうち、最も適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 4世紀初頭、東ゴート人はローマを略奪した。
- B. ヴァンダル人がアフリカに建てた王国はムスリムによって滅ぼされた。
- C. 西ゴート人はラヴェンナを拠点にしてイタリア半島を支配した。
- D. 南イタリアを中心にランゴバルド王国が建てられた。
- E. ブルグンド王国はフランク王国に滅ぼされた。

設問 4. 下線部(4)に関して、ローマ帝国内に存在した五本山として、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. コンスタンティノーブル
- B. アンティオキア
- C. イェルサレム
- D. アレクサンドリア
- E. アテネ

設問 5. 下線部(5)に関して、ローマ＝カトリック教会確立期の以下のでき事①～

⑤を、年代順に正しく並べたものを一つ選んでマークしなさい。

- ① レオ1世がフン人のローマ侵略を防いだ。
- ② グレゴリウス1世がアングロ＝サクソン人への布教に成果をあげた。
- ③ アウグスティヌスが『神の国』を執筆した。
- ④ ニケーア公会議でアタナシウスの説が正統とされた。
- ⑤ ベネディクトゥスがモンテ＝カシノに修道院を創設した。

- A. ②—④—①—③—⑤
- B. ③—②—①—④—⑤
- C. ⑤—④—①—②—③
- D. ④—③—①—⑤—②
- E. ②—⑤—①—③—④

設問 6. 下線部(6)に関する以下の説明のうち、最も適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. カール＝マルテルが初代の国王となった。
- B. カール大帝(シャルルマーニュ)はヴァイキングの攻撃を撃退した。
- C. 地方の有力者を伯に任命して統治にあたらせた。
- D. バリを拠点として宮廷文化の復興が試みられた。
- E. 東フランク王国のカロリング家の断絶により、最終的に消滅した。

設問 7. 下線部(7)に関して、中世ヨーロッパにおける周辺地域からの動きについての説明として、最も適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. リューリクを首長とするノルマン人はドナウ川流域へ進出した。
- B. アヴァール人はオットー1世に敗れて勢力を失った。
- C. マジャール人はバルト海沿岸を拠点に王国を築いた。
- D. ムスリムはイタリアや南フランスに侵攻した。
- E. デーン人はロシアに進出した。

設問 8. 下線部(8)に関して、9世紀前半にアングロ＝サクソン人の7王国を統一してイングランド王国を成立させた人物の名を解答欄に記入しなさい。

設問 9. 下線部(9)に関して、7世紀後半、ビザンツ領内に国家を建設した民族として、最も適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ブルガール人 B. セルビア人 C. クロアチア人
D. スロヴェニア人 E. リトアニア人

設問10. 下線部(10)に関して、中世ヨーロッパの農村社会についての以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 農奴は領主に結婚税や死亡税を支払った。
B. 直営地での収穫の半分は農奴が取得した。
C. 地代荘園の普及により、農民の地位はしだいに向上した。
D. 農民は教会に十分の一税を支払った。
E. 重量有輪犁の導入は、耕地の再編成を促した。

設問11. 下線部(11)に関して、10世紀初頭に設立され、11世紀以降の教会刷新運動に大きな影響を与えた修道院の名称を、解答欄に記入しなさい。

〔Ⅱ〕 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

7世紀初めにアラビア半島で生まれたイスラーム教は、他のアジア地域やアフリカにも広まり、現在では世界宗教の一つとして数えられている。

中国は現在、多くのムスリム人口を抱える国の一つであり、ムスリム系住民の数は約2000万人といわれている。中国のムスリム少数民族の多くは、ウイグル族、キルギス族、カザフ族に代表される(ア)集団で、強固なアイデンティティを保持している。また、中国においてイスラーム教は(イ)教とも称され、(イ)族と呼ばれる土着化したムスリム少数民族も存在する。

中国へのイスラーム教の拡大は751年にタラス河畔の戦いにおいて唐軍がイスラーム軍に大敗し、中央アジア地域でムスリム商人の活動が活発となり、イスラーム教が浸透していったことによる。特に、(ア)集団のイスラーム化は、10世紀に東トルキスタンのイスラーム王朝であった(ウ)が西トルキスタンのサーマーン朝を滅ぼし、東・西トルキスタンを併合したことにより進展した。こうして、現在の中国新疆ウイグル自治区から中央アジアにかけて、ムスリムが多数居住する地域となった。

また、海側からも唐代にはすでにムスリム商人が中国に来訪していたことが知られており、唐末期の(エ)の乱の際には、多くのムスリム商人が犠牲になったと記録されている。宋代から元代にかけても、海港でムスリム商人は活発に活動し、広州、泉州、杭州、厦門、揚州といった海外貿易拠点が発展した。

アフリカ大陸へのイスラーム教の伝播は、地理的に三つに分けることができる。ナイル川下流部から北アフリカにかけては、正統カリフ時代からアッバース朝時代には、すでにイスラーム世界の領域となっていた。その後11世紀なかばにベルベル人の間で熱狂的な宗教運動が起こり、(オ)が、続いてムワッヒド朝が成立して、イスラーム教の影響はアフリカ西部へと拡大した。また、アフリカ西部のガーナ王国は金が多く産出したため、ムスリム商人が来訪し、交易が盛んに行われていたが、国王はムスリムではなかった。この国は(オ)の攻撃により衰退する。その後、イスラーム教を選択した支配者によるマリ王国や(カ)が起こった。特にニジェール川中流の交易都市として栄えた(キ)に

はムスリム商人も多数居留し、イスラーム学問の中心地として発展した。

アフリカ大陸東岸では古くから、インド洋の季節風を利用した貿易が盛んで、10世紀以降はこの地域へのムスリム商人の進出が本格化した。そして、インド洋貿易の西の拠点として、アラブ、アフリカ文化の融合したスワヒリ港湾都市⁽³⁾が繁栄した。

ナイル川中流域から紅海にかけての地域は、4世紀にキリスト教が広まった(ク)があり、またその周辺にもイスラーム教の拡大に抵抗した勢力が存在したため、そこからのイスラーム教の伝播はなかなか進まなかった。

設問 1. 空欄(ア)に最も適する語句を一つ選んでマークしなさい。

- A. モンゴル系 B. トルコ系 C. イラン系
D. チベット系 E. ビルマ系

設問 2. 空欄(イ)にあてはまる漢字一文字を解答欄に記入しなさい。

設問 3. 空欄(ウ)に最も適する語句を一つ選んでマークしなさい。

- A. ガズナ朝 B. ゴール朝 C. セルジューク朝
D. カラ=ハン朝 E. ティムール朝

設問 4. 空欄(エ)にあてはまる言葉を解答欄に記入しなさい。

設問 5. 空欄(オ)に最も適する語句を一つ選んでマークしなさい。

- A. ムラービト朝 B. マムルーク朝 C. ナスル朝
D. ブワイフ朝 E. アイユーブ朝

設問 6. 空欄(カ)に最も適する語句を一つ選んでマークしなさい。

- A. メロエ王国 B. クシュ王国 C. アクスム王国
D. モノモタバ王国 E. ソンガイ王国

設問 7. 空欄(キ)にあてはまる地名を解答欄に記入しなさい。

設問 8. 空欄(ク)に最も適する語句を一つ選んでマークしなさい。

- A. メロエ王国 B. クシュ王国 C. アクスム王国
D. モノモタパ王国 E. ソンガイ王国

設問 9. 下線部(1)の戦乱の結果、イスラーム世界に伝播した技術の一つを選んでマークしなさい。

- A. 製紙法 B. 羅針盤 C. 火 薬
D. 製糖法 E. 木版印刷

設問10. 下線部(2)の地名のうち、マルコ＝ポーロがザイトンと呼び、世界第一の貿易港として紹介した港の一つを選んでマークしなさい。

- A. 広 州 B. 泉 州 C. 杭 州
D. 厦 門 E. 揚 州

設問11. 下線部(3)にあてはまる港湾都市として、適切でないものの一つを選んでマークしなさい。

- A. マリンディ B. モンバサ C. ザンジバル
D. キルワ E. マラケシュ

設問12. 下線部(3)のいずれかの港湾都市に来航した人物として、適切でないものの一つを選んでマークしなさい。

- A. イブン＝バットウータ B. 鄭 和
C. カブラル D. マゼラン
E. ヴァスコ＝ダ＝ガマ

〔Ⅲ〕 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

カーブルを本拠にして北インドに進出し始めた(ア)は、1526年のパーニーパットの戦いでデリー＝スルタン朝最後のロディー軍を破った。1558年、(イ)は首都をアグラに移し、彼の時代にムガル帝国は本格的な基礎が築かれた。彼はすべての官僚を位階で序列化し、それぞれの位階に応じて騎兵や騎馬の準備を義務づけ、給与を与える制度を導入した。⁽¹⁾さらに彼はヒンドゥー教徒とムスリムの融合をはかり、支配の基礎をかためた。そして自らヒンドゥー教徒の女性と結婚し、非ムスリムに課せられていた人頭税を廃止した。

宗教においてはすでに15～16世紀に、イスラームとヒンドゥーの両宗教の融合をはかる新たな信仰が現れた。(ウ)は、不可触民への差別を非難し、人類が根本的に一つであることを説いた。また(エ)は愛と献身により神とともに生きることでカーストの区別なく解脱できることを説き、シク教の祖となった。⁽²⁾文化面でも融合がすすみ、イラン出身者やインド各地から画家が招かれ、ムガル絵画と呼ばれる細密画が多数うみだされた。また北インドの口語にペルシア語の要素を多分に加えた言語も誕生した。⁽³⁾

17世紀後半から18世紀初頭にかけて在位した(オ)帝は、ヒンドゥー教を迫害し、非ムスリムに対する人頭税を復活させた。これに対してヒンドゥー教徒らは反発し、とりわけシヴァージーが建てた(カ)王国は帝国との抗争を繰り返した。1724年には、ムガル帝国の宰相によってデカン高原に(キ)が建てられ、これを契機に地方勢力の自立傾向はさらに進んだ。さらに南インドの(ク)王国が独自の政治勢力として急成長した。18世紀にはアフシャール朝がインドに侵入したため、ムガル帝国はデリー周辺を支配するにすぎなくなった。

イギリスは東インド会社を創設してインドへの進出を試みていたが、インド内部の分裂と混乱は、インド支配を進めるまたとない機会であった。⁽⁴⁾18世紀から19世紀にかけてイギリスは、フランスとの競争に勝利してインドの植民地化を急速に進めた。⁽⁵⁾

設問 1. (ア)から(オ)までの空欄にそれぞれ最も適するものを下の語群から一つ選

び、マークしなさい。

A. アクバル

B. ジャハーンギール

C. ティラク

D. カビール

E. アウラングゼーブ

F. シャー＝ジャハーン

G. ミドハト＝パシャ

H. ナーナク

I. バーブル

J. アイバク

K. パイバルス

L. ナオロジー

設問 2. (カ)から(ク)までの空欄にそれぞれ最も適するものを下の語群から一つ選

び、マークしなさい。

A. マイソール

B. マラーター

C. ヴィジャヤナガル

D. アッサム

E. ニザーム

F. バンジャープ

G. グルカ

H. ラージプート

I. アウド

J. シャンデルナゴル

K. セイロン

L. チョーラ

設問 3. 下線部(1)の制度は何と呼ばれるか、解答欄に記入しなさい。

設問 4. 下線部(2)は、ヒन्दウー教の神に絶対的な帰依をささげる宗教活動を一つの基盤としている。この宗教活動は何信仰と呼ばれるか、解答欄に記入しなさい。

設問 5. 下線部(3)の言語名を解答欄に記入しなさい。

設問 6. 下線部(4)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選び、マークしなさい。

- A. エリザベス 1 世によって設立された。
- B. マドラス(チェンナイ)、ボンベイ(ムンバイ)、カルカッタ(コルカタ)などを拠点に貿易活動を展開した。
- C. インド産の綿織物をイギリスにもたらし、貴族や市民に歓迎された。
- D. 独自の軍隊やインド人傭兵を抱えていた。
- E. ムガル帝国が滅亡するまで、インド貿易を独占し続けた。

設問 7. 下線部(5)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選び、マークしなさい。

- A. クライヴが初代ベンガル知事になった。
- B. ザミンダーリー制によって、地主は没落した。
- C. 19 世紀に入って、インディゴや茶のプランテーションが拡大した。
- D. 19 世紀に入って、中国向けのアヘン生産が拡大した。
- E. イギリスは、植民地支配の円滑化のため、英語教育の導入や鉄道の敷設などを行った。

〔Ⅳ〕 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

第二次大戦後の数十年間は冷戦時代といわれる。これは大国同士が直接戦火を交えることがなかったという意味であり、局地的な紛争は世界各地でその間も生じていた。欧米に比較的近い、中東、アフリカ、中南米を中心にたどってみたい。

パレスティナでは、新たにイスラエルが建国されたことを原因に第一次中東戦争⁽¹⁾が起こり、その後長く続く紛争の発端となった。エジプトでは、約 150 年間続いた王朝⁽²⁾を倒したナセル⁽³⁾が実権を握り、1970 年に急死するまで、第三世界の指導者の一人として活躍した。エジプトでの革命の成功は周辺地域にも影響を与え、1964 年にはパレスティナ解放機構が設立された。アメリカは、中東における共産主義勢力⁽⁴⁾の拡大を防ぐ目的で、1955 年にバグダード条約機構⁽⁵⁾を設立した。

アフリカは多くの地域がヨーロッパ諸国の植民地になっていたが、50 年代からすでにいくつかの地域では独立国家建設の機運が生じた⁽⁶⁾。さらに「アフリカの年」⁽⁷⁾と呼ばれた 1960 年を頂点に、多くの新興独立国がアフリカでは次々と誕生しているが、紛争に自然災害が加わり、多くの問題が生じた。

中南米では、古い社会体制の残存などが原因で不安定な状況が続き、これにアメリカとの関係が加わって大きな政治的変動⁽⁸⁾が生じた。特にアメリカに地理的に近いキューバで生じた事件は、米ソ両超大国の直接衝突の危機を到来させた。

⁽⁹⁾第三世界の人々は、南北問題の解決を主な要求としてかけ、その結果、国際連合によって（ア）が設立されて、1964 年に第一回総会が開かれた。

冷戦が後半に入った 60 年代後半以降、各地の紛争は、対立と和解が交錯するなか、全体としてはさらに複雑な展開を見せている。中東では新たな軍事衝突が起こり、その後紛争と和平をめぐる長いプロセスが続いたが、近年ではむしろ各勢力⁽¹⁰⁾において意見の対立が生じて困難な問題を投げかけている⁽¹¹⁾。中南米では各地で軍部独裁政権が誕生したが、オイルショックなどの影響でこれも安定せず、各地でクーデタや政変が相次いだ⁽¹²⁾。

サハラ以南のアフリカでは、新たにいくつかの独立国が誕生したが、各勢力の利害の衝突に自然災害が追い討ちをかけるなど、情勢は安定していない⁽¹³⁾。

設問 1. 下線部(1)に関して、第一次中東戦争までのパレスティナ周辺情勢に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. パルフォア宣言でユダヤ人のパレスティナ復帰運動支援が約束された。
- B. 第一次大戦後、パレスティナ・イラク・シリアはイギリスの委任統治領となった。
- C. 第二次大戦中、多くのユダヤ人難民がパレスティナに移住した。
- D. 1945年にエジプトなどアラブ7カ国がアラブ連盟(アラブ諸国連盟)を結成した。
- E. 国際連合はパレスティナの分割案を提示した。

設問 2. 下線部(2)の創始者の名前を解答欄に記入しなさい。

設問 3. 下線部(3)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ナギブを追放して首相に就任した。
- B. イギリス軍の完全撤退を実現させた。
- C. 非同盟・中立の立場を明らかにした。
- D. アメリカなどがアスワン=ハイダム建設資金を凍結させたことをきっかけに、スエズ運河国有化を宣言した。
- E. エジプトとヨルダンを統合させてアラブ連合共和国を成立させた。

設問 4. 下線部(4)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. パレスティナ奪回を目標に設立された。
- B. 指導者となったアラファトは、当初、武装闘争を展開した。
- C. アラブ首脳会議で、パレスティナ唯一の代表であることが承認された。
- D. イスラエルがレバノンに侵攻したため、拠点をカイロに移した。
- E. アルジェでパレスティナ国家樹立を宣言した。

設問 5. 下線部(5)の加盟国として、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. イラク B. イラン C. サウジアラビア
D. トルコ E. パキスタン

設問 6. 下線部(6)に関して、1960年までのアフリカ諸国の独立に関する以下の説明のうち、最も適するものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 旧イタリア植民地アルジェリアが独立した。
B. フランス・エジプト共同統治領からスーダンが独立した。
C. イギリス領モロッコが独立した。
D. チュニジアがフランスから完全に独立した。
E. エリトリアがイギリスから独立した。

設問 7. 下線部(7)に関して、1950年代から60年代にかけてのサハラ以南のアフリカに関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ガーナがイギリス連邦内の自治領として独立した。
B. ギニアがフランスから完全に独立した。
C. コンゴが独立したがイタリアが干渉し、首相ルムンバは殺害された。
D. ナイジェリアで内戦(ビアフラ戦争)が起こった。
E. アジスアベバでアフリカ諸国首脳会議が開かれた。

設問 8. 下線部(8)に関して、第二次大戦終結から 1950 年代までの中南米に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 1947 年のパン = アメリカ会議でリオ協定が採択された。
- B. 土地改革を求める運動や、アメリカの干渉に反発する民族主義が高まった。
- C. ボリビアで革命が起こり、錫鉱山の国有化などが実施された。
- D. グアテマラで左翼政権が成立したが、アメリカの干渉で倒された。
- E. チリでは、大統領ペロンが民族主義的主張を掲げて社会改革を行った。

設問 9. 下線部(9)に関する以下の説明のうち、最も適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. フランスから独立したものの、プラット条項で、事実上アメリカの保護国化されていた。
- B. 1959 年、革命によってディアス政権が倒された。
- C. 指導者サパタは社会主義を宣言した。
- D. 革命政権は、砂糖精製など基幹産業から外国資本を追放して国有化を進めた。
- E. 1964 年に米州機構加盟国との和解が成立した。

設問10. 下線部(10)に関して、1970年代以降の中東情勢に関する以下の説明のうち、最も適切なものを一つ選んでマークしなさい。

ち、最も適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 第4次中東戦争により、イスラエルは支配地域を大きく拡大させた。
- B. アメリカ大統領フォードの仲介により、エジプトとイスラエルの合意が成立した。
- C. エジプト＝イスラエル平和条約の結果、イスラエルはヨルダン川西岸から撤退した。
- D. 1993年の協定で、イスラエル占領地におけるパレスティナ人の暫定自治が承認された。
- E. イスラエルのシャロン首相はパレスティナ人との和解を大きく進展させた。

設問11. 下線部(11)に関して、イスラエル占領地で1987年以降生じた抗議行動の名称を解答欄に記入しなさい。

設問12. 下線部(12)に関して、1960年代以降の中南米の情勢に関する以下の説明のうち、最も適切なものを一つ選んでマークしなさい。

のうち、最も適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ブラジルやペルーの軍部独裁政権は、アメリカの支援の下で強圧的な政治を行った。
- B. コロンビアにおけるアジェンデの社会主義政権は、軍部のクーデタで崩壊した。
- C. アメリカは新パナマ運河条約により、パナマ運河地帯の所有権を確保した。
- D. アルゼンチンの軍事政権は戦争によりフォークランド領有を確定させた。
- E. グアテマラではサンディニスタ民族解放戦線が独裁政権を倒した。

設問13. 下線部(13)に関して、1970年代以降のサハラ以南のアフリカ情勢についての以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ギニア＝ビサウがポルトガルから独立した。
- B. エチオピアでは皇帝による独裁政権がクーデタで倒された。
- C. モザンビークが独立したが、南アフリカに支援された反政府勢力との内戦が生じた。
- D. アンゴラでは白人政権が倒されてジンバブエ共和国となった。
- E. ナミビアが南アフリカから独立した。

設問14. 空欄(ア)にあてはまる語句を解答欄に記入しなさい。